

# いなばひがし 社協

VOL. 22

平成25年3月15日発行

各務原市社会福祉協議会  
稲羽東支部



支部長  
永井一英

## 一年を振り返って

光陰矢の如し……、時の流れの早さを感じつつ。支部活動も計画通り実施することができました。これも地域の皆様のみならず、関係諸団体の方々のご協力のおかげであります。心より感謝申し上げます。

とりわけ、今年度は新たな取り組みとして、「地域福祉座談会」を開催し、参加者が町内の人と人の繋がりや、「一人暮らしの方々の実態を出し合いました。それを共有することで、これから街づくりに役立てて行こうというもので、互いに町内の実情を知る良い機会であつたと思います。

また、子どもたちの安心・安全のため、各町内には「子ども」「〇番の家」が置かれています。子どもたちが、そのお宅を訪問し、あいつを交わす機会を作ることで、相互理解を得ようと言う試みを、支部社協から提案し、平成二十五

年から学校行事として、PTAが主体で行われることになりました。さて、平成二十四年は、団塊の世代が高齢期を迎え、いよいよ超高齢社会に入りました。この支部では、市内でも高齢化率が高く、人口比率で、すでに二十七%と、四人に一人を上回る高齢者（六十五歳）と、言う現実が始まっています。

したがって、社会福祉協議会の「ささえてささえられてみんなが主役のまちづくり」の基本方針に基づいて実施する様々な事業を通じて、心と心が繋がりを深めることで、互いの連帯意識を高める一つの方法であると思います。

最後になりますが、今後の支部活動は、一つの手段に過ぎませんが地域や町内の人たちのニーズに合った事業を実施し、そのためには各自治会からのご支援はもとより、各町内から積極的に行事に参加し、互いに膝を交え、和やかな雰囲気の中で楽しむことができるることを期待しております。

稻羽東支部が皆さんに支えられ、ますますのご発展をお祈りいたします。

平成二十四年度事業活動報告					
9月	8月	7月	6月	5月	24年4月
19 // 16 9	// 19 4	// 20 // 15	// 23 // 17 9 // 3	// // 2016 10	25 20 // 15
稻羽東支部 延定期地 域子育て 支援事業 (第5回)	* 横断旗点検 各務原市福 祉フェスティ バル	* 社会福 祉協議会助 助金募集 理事会(第4回)	* 独居・介護者 友愛訪問 高齢者ふれ あい交流会 地域子育て支 援夏祭り(三 世代交流)	* 横断旗点 検 稻羽東小茶 摘(育成・PTA 共催) 理事会(第2回)	家族みんなで走ろう会 元気に歩こう会 パターーゴルフ 大会
3月	2月	25年1月	12月	11月	10月
27 23 20 // // 17 15 13	20 // 17 12	30 22 // 20	// 16 // // 9	// 18	30 // // 21 17
元気な歩こう会 10番の家訪問 事業	理事会(第9回)	第30回ジヨギング 大会	各務原市社会 福祉大会	岐阜県社会福 祉大会	* 共同募金運動 理监事会(第7回)
会計監査 支部総会 引継会	家庭みんなで走ろう会 元気な歩こう会	家庭みんなで走ろう会 元気な歩こう会	家庭みんなで走ろう会 元気な歩こう会	家庭みんなで走ろう会 元気な歩こう会	カローリング大会 元気な歩こう会



①近隣ケアグループの基本的な活動では、社会背景（高齢化、単身化、孤独死）をデータで示し、近隣ケアの必要性、役割の説明を受けました。  
②稻羽東支えあいマップでは、昨年作成した福祉マップに新しい情報を追加し、近隣ケアグループの中で話し合い、同じ認識を持てるように努めました。

各務原市社会福祉協議会の土屋主任を講師に招き、自治会長・近隣ケアグループ員および社協関係者を対象に研修会を行いました。

研修内容は、  
①近隣ケアグループの基本的な活動では、社会背景（高齢化、単身化、孤独死）をデータで示し、近隣ケアの必要性、役割の説明を受けました。  
②稻羽東支えあいマップでは、昨年作成した福祉マップに新しい情報を追加し、近隣ケアグループの中で話し合い、同じ認識を持てるように努めました。

## 平成24年 6/9(土) 「近隣ケアグループ研修会」

あじさい(長平)代表

丹羽淑子

## 横断旗入ポールの製作

六月三日(日)五月の横断旗補充の際、横断旗入ポール

先端部の損傷したもの、横断旗が風で飛ばされ破損したものが多く見られたことから、支部長、民生委員および主任児童委員で横断旗入ポールの製作をおこないました。

今回は、従来のプラスチックから鋼管にしたことで、旗の入りを深く、鋼管先頭の中が真っ白になつたものです。社

隣ケアのお話しを受けた時、「どうしよう、どうしよう」と不安一杯でした。しかし、どうしあげたい、こーもしてあげたい」と思つてきました。

協の研修会を受けることにより「あーい」と思つてきました。

近隣者の交流のため、楽しみ会を行ない子供会を招待して人形劇、ミニ音楽コンサート、元気な体作り、筋肉伸びるストレッチ体操、本当の鳩が出でてくる手品、介護予防体操、フラダンスを実施し、会場が一体感になつた時はうれしい気分にさせていただきました。

少しばかりの食事の時、味噌汁、豚汁、手作りのお菓子を作つて添え、楽しい雰囲気になつた時、会員の方が「顔見知りの方々ばかりですが、一言添えて自己紹介してほしい」と言われ、実施しました。今まで生きて来た重みが感じられ、この地域で若い方が安心して暮らせる土台の方々だとと思うと明るく楽しく元気で長生きしていただきたいと思いました。私達は、会員の方々や、独り暮らしている方に添えて自己紹介してほしい」と言われ、一年の任期を全うしたいです。

また、ポールを見やすくするため黄、黒の縞模様とし、全数の約9割に当たる二〇本を製作しました。

## お礼のことば

「自治会連合会」「体育振興会」「稻羽東小PTA」「青少年推進委員会」をはじめ大勢の方々のご協力を頂き多くの事業が実現致しましたことを心よりお礼申し上げます。今後とも、ご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願ひいたします。

役員一同



## 平成24年 6/9(土) 「近隣ケアグループ紹介」

あじさい(長平)代表

丹羽淑子

# 平成24年5/10(木) 稲羽東小茶摘

文字通り五月晴れの中、稲羽東小学校（中島玲子校長、児童数二三六名）で恒例の茶摘みが行われました。

この行事は今年でなんと七十一回目となる伝統行事です。

全校児童に加え、保護者の方や稲羽東小学校区の見まもり隊の方、地域の方も一緒に新芽を摘み取りました。子どもたちは摘み取り方を大人の方に教わったり、昔はいっぱい茶畠があつてね…と会話をしたりして、ふれあいのひと時となりました。丁寧にがんばって摘み取ったお茶は42kgにのぼりました。今回摘んだお茶は製茶を経て子どもたちの給食のお茶になります。自分で摘んだお茶は格別の味わいではないでしょうか。



## 平成24年7/20(金) 地域ふれあい交流会

平成24年  
7/20(金)

前宮保育所恒例の夏祭りが行われました。あいにくの天気ではあります。だが、多数の方に参加を頂き、盛大に終わる事が出来ました。子供達の踊りや、太鼓の演技に、親御さんもハラ・ハラ、ドキ・ドキ、涙ぐむ母親の姿も見られました。ゲストの「ケンちゃんハウス」の、パフォーマンスに爆笑。



## 平成24年8/4(土) 地域福祉座談会

平成24年  
8/4(土)

前宮保育所恒例の夏祭りが行われました。あいにくの天気ではあります。だが、多数の方に参加を頂き、盛大に終わる事が出来ました。子供達の踊りや、太鼓の演技に、親御さんもハラ・ハラ、ドキ・ドキ、涙ぐむ母親の姿も見られました。ゲストの「ケンちゃんハウス」の、パフォーマンスに爆笑。



## 平成24年12/9(日) 歳末たすけあい交流会

平成24年  
12/9(日)

稲羽東福祉センターにて行われ約二二〇名余りの参加者がありました。今年の催物は、ハーモニカはまなす（代表）青山茂樹さん他十二人によるハーモニカ演奏でした。懐メロから軍歌までいろいろな曲がハーモニカで奏でられ、手拍子に歌で盛り上りました。十三人一緒に奏るととても迫力があり、楽しく聴けました。

良い音色で心が和んだ後は、心と体の体操のトッサーさんによる笑いヨガです。身振り手振りによる笑いです。隣の人の顔を見て笑うなんて、こんな時しか出来ません。

インド・インド・ヤーリーなんて初めはなかなかできませんでしたが、やつてるうちに、笑う事で心と体がリフレッシュして、なかには体が温かくなつたという人もいました。

笑いヨガは、なんでもインドのお医者さんが考えた体操だそうです。笑いと呼吸法で脳の活性化にとても良いそうです。



# 平成24年6月 友愛訪問

ひとり暮らしの方、介護をしてみ

れる方々の家庭を訪問し、声掛けをいたしました。

稲羽東校区内で対象となる方は、現在約七七名おられます。

生活も頑張つておられる方が大半で、人生の先輩からいろいろ数多くのお話を聞かせていただきました。

しかし、中には寂しさを感じられておられる方もあり、訪問させてもらうとともに喜んでいただき世間話に時の経つのも忘れ、お互いに楽しい時間を持つことができ、とても有意義な活動でした。

平成24年  
6/23(日)

# 高齢者ふれあい交流会

七十五歳以上の高齢者と六十五歳以上の独居者を対象にした「高齢者ふれあい交流会」が稲羽東福祉センターで開催され、約一〇〇名余りの参加がありました。

第一部は、つつじ苑包括支援センターの職員を講師に招き、健康体操と称し歌に合わせ手足を動かす「リハビリ体操」の説明を聞きました。その後、参加者全員が椅子に座つて「リングの歌」と「東京ラブソディー」の曲に合わせ手足を動かす体操をしました。高齢者になると運動不足で筋力が衰えるため、手軽に行える筋力アップの体操が大変参考になりました。

第二部は、ボランティア「津軽三味線 Kotobuki」の女性二人による演奏がありました。演奏は「お江戸日本橋」に始まり、「野崎小唄」「じょんがら節」「長良川演歌」「夕焼け小焼け」など民謡、演歌、童謡と解説をまじえながら演奏があり、会場では演奏に合わせて手拍子することもありました。なじみの歌が多く皆で歌う場面もあり、会場内は大いに盛り上りました。